

総合的な防衛体制の強化に資する取組について (研究開発)

研究開発の取組について（マッチング）

1. これまでのマッチング事業の方向性も踏まえつつ、令和7年8月の「総合的な防衛体制の強化に資する研究開発及び公共インフラ整備に関する関係閣僚会議（第9回）」で改訂した「重要技術課題」に基づき、国研等の研究開発事業や委託事業を対象として、予算編成過程において、防衛省と関係府省等との間で「マッチング事業」について意見交換を実施。
2. 今般、令和8年度に実施する「マッチング事業」を認定。
3. 今後、認定された「マッチング事業」について、関係府省が当該事業を実施しつつ、研究成果等について防衛省とコミュニケーションを行い、防衛省の研究開発に結び付く可能性が高いものを効率的に発掘・育成していく。

※なお、「重要技術課題」については、令和8年度以降も、防衛省のニーズや関係府省における研究開発の趨勢等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。

令和8年度の総合的な防衛体制の強化に資する「研究開発」について

重要技術課題	マッチング事業の概要	予算額	件数
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電工エネルギーの送電技術に関する研究開発 高性能な蓄電技術に関する研究開発 高出力レーザ技術に関する研究開発等 	347億円	18件
センシング	<ul style="list-style-type: none"> 測時、測位の高精度化技術に関する研究開発 環境の電磁波測定技術に関する研究開発 リモートセンシングに関する研究開発 超高感度センシング技術に関する研究開発 複数センサ情報の融合技術に関する研究開発等 	650億円	49件
コンピューティング	<ul style="list-style-type: none"> 量子コンピュータ等の次世代コンピューティングに関する研究開発 エッジコンピューティングに関する研究開発 光電融合技術を用いた研究開発等 	301億円	23件
情報処理	<ul style="list-style-type: none"> 膨大なデータの予測・抽出技術の研究開発 AIを用いた環境・状況認識支援に関する研究開発 センサデータの効果的な可視化技術に関する研究開発等 	526億円	39件
情報通信	<ul style="list-style-type: none"> 高速大容量・低遅延通信技術に関する研究開発 高速光通信デバイスに関する研究開発 量子技術によるセキュア通信技術に関する研究開発等 	149億円	23件
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃の観測技術の高度化に関する研究開発 サイバー空間のセキュリティ技術に関する研究開発 秘匿計算を用いたセキュリティ技術に関する研究開発等 	252億円	9件
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> AI等の計算科学技術・高度計測技術を用いた材料に関する研究開発 自己修復する機能材料に関する研究開発 耐熱材等の高度加工技術に関する研究開発等 	527億円	39件
無人化・自律化	<ul style="list-style-type: none"> 無人機の環境認識技術に関する研究開発 ブレイン・マシン・インターフェースに関する研究開発 無人機の群制御技術に関する研究開発等 	426億円	19件
機械（構造、設計、推進等）	<ul style="list-style-type: none"> 過酷環境における安全性・信頼性に関する研究開発 数値解析を用いた設計・製造プロセスに関する研究開発 次世代の飛行技術に関する研究開発 衛星技術に関する研究開発等 	974億円	16件
バイオ・メディカル	<ul style="list-style-type: none"> 外傷医療の高度化技術に関する研究開発 素材・材料の創製に関する研究開発 有毒物質等の危機管理・対処技術に関する研究開発 生体情報・試料の解析・評価に関する研究開発等 	993億円	46件
合計		5,144億円	281件

(注1) 計数整理の結果、異同を生ずることがある。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(参考) 所管別内訳

所管	予算額	件数
内閣官房	17億円	5件
内閣府	794億円	14件
総務省	326億円	35件
文部科学省	2,049億円	54件
厚生労働省	411億円	31件
農林水産省	267億円	14件
経済産業省	1,136億円	100件
国土交通省	97億円	22件
環境省	48億円	6件
合計	5,144億円	281件

(注1) 計数整理の結果、異同を生ずることがある。

(注2) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(注3) 上記合計5,144億円の主要経費別内訳は、科学技術振興費4,561億円、その他584億円。